

【 目指す生徒像 】

- ◆自律・自立 『自分で考え、正しく判断し、よりよい行動ができる力』を身につけた生徒
- ①目標の達成に向けて、見通しをもってひたむきに取り組むことができる。(誠実さ)
- ②相手を尊重し、周りの人の気持ちや立場を考えて行動できる。(温かさ)
- ③考えの相異を受け入れ、仲間とかかわりながら、協働して取り組める。(協働力)
- ④情報を適切に活用することができる。(情報活用能力)

《各務原市小中学校教育指導の基本理念》  
**誇り・やさしさ・活力のある児童生徒**  
 ～一人一人が学ぶ喜びを実感～  
 《学校の教育目標》  
**たくましく未来を切り拓く生徒の育成**

【 学校課題 】

- ◇「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ◇生徒会を核とした自治的活動の充実
- ◇自尊感情の高揚、人権意識・行動力の高揚

【 目指す教職員像 】

- ◆教育への情熱をもち、生徒一人一人の幸せを心から願って、子どもの心に寄り添い、職務を遂行する教職員
- ①誠実さと温かさを持ち、誰からも信頼される教職員
- ②高い専門性を身に付けるために、学び続ける教職員
- ③生徒に自己有用感と自己肯定感を与え、成長を実感させられる教職員
- ④他の職員と協働し、組織全体で職務や生徒の指導を行う教職員
- ⑤常に笑顔で生徒と接することができる教職員

方針1 《 魅力ある教育活動の創造 》

- (1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
  - ・見通しと必然性のある学習活動
  - ・意図的なSS活動
  - ・個に応じた指導の工夫
  - ・成長を実感できる振り返り
  - ・効果的なICT 機器の活用
- (2)自律・自立につながる生徒の主体的活動
  - ・充実感と笑顔を生み出す、生徒主役の活動 → 「有志活動の充実」
  - ・主体性と自治的態度を育てる生徒会活動と日常活動
  - ・仲間と協働し、一体感と達成感を味わう行事
- (3)多様性を尊重し、人権に関わる認識力と行動力を培う人権教育
  - ・確かな人権感覚を身に付け、所属感を実感できる学級づくり
  - ・仲間や自分の「よさ」を見つめる取組の継続的な実施
  - ・ひびきあい活動の充実 → 「ひびきあい集会」「中央中人権宣言」「人権標語」
- (4)自己の生き方を見つめ、自己肯定感を育むキャリア教育
  - ・一人一人の「思い・願い」に寄り添い、夢や目標を与える進路指導
  - ・夢や憧れにつながる、体験的・対話的活動の充実 → 「職業講話」「職業体験」

キーワード1  
『必然性』

キーワード2  
『自己決定』

方針2 《 生徒が安心して活動し成長するための組織運営 》

- (1)迅速かつ的確な組織的対応による危機管理
  - ・報告、連絡、相談の徹底
  - ・ケース会の実施
  - ・迅速で的確な初期対応
  - ・いじめ問題、不登校への組織的対応と未然防止
  - ・外部諸機関との連携
- (2)生徒の力と心を育てる教職員の指導力向上
  - ・OJTの積極的な推進
  - ・効率的で効果的な職員研修
  - ・研究推進委員会、教科部会等の充実 → 「授業力向上」「ICT活用能力向上」
- (3)多様なニーズや課題に対する対応力の向上
  - ・生徒一人一人の心に寄り添った教育相談の充実
  - ・多様性への理解と的確な対応
  - ・発達障がいへの理解と適切な支援
- (4)信頼を高める教職員の資質向上と服務規律の徹底
  - ・教職員の人権感覚向上
  - ・接遇力向上
  - ・法令遵守のための職員研修
- (5)生徒に軸足を置いた働き方改革の推進
  - ・早く帰る日の徹底
  - ・部活動地域移行の推進
  - ・スクラップ&ビルドとICT活用による指導や業務の効率化

《 地域・家庭との連携強化 》

- ◇コミュニティ・スクールを核とした地域連携強化と、子どもの自己肯定感の醸成 → 「自分のことが好きな中央の子」
- ◇中学生による地域活動の充実 → ふれコミ隊活動 地域行事への参画 地域あいさつ活動
- ◇PTAとの連携 → あいさつ活動 通学路安全活動 地域・保護者への情報発信 「子育て広場」の実施

《 学校評価を核としたPDCAサイクルの実施 》

- ◇自己評価・保護者評価・生徒評価・関係者評価の実施
- ◇具体的でわかりやすい評価項目
- ◇客観的資料に基づく分析(P)と、積極的な実行(D)